

復興需要終了後の地域経済への危機感共有が重要

市長。インフラ整備進展で経済活性化が

9月16日(金)午後、落合久三議員は復興需要終了後の地域経済対策と出崎埠頭整備事業について一般質問しました。要旨を紹介します。

危機感共有が重要

【質問】震災前から少子高齢化と産業右下がり傾向は続いており、復興需要が終了すると失速が余儀なくされる。水産加工業、商工業は国、県、市



また解決の施策は何か。

活性化が期待

【答弁】インフラ整備の進展で経済活性化が期待される。工業の製造品出荷額は概ね回復し

ごぼれ話

宮古弁は本当に難しい、紛らわしい。年配の方だとそれほど苦にしないのだが。県外から宮古に嫁ぎ、宮古に住んでかれこれ20年近くになる方が居る。宮古弁にもだいぶ慣れた。ある日、姑にあることを頼まれた。「伯母さんの所さ行って○○を伝えて来てけんねえすか。伯母は年をとって耳も遠いがら大きな

事業所支援は喫緊課題

【質問】食産業推進への「儲かる商品づくり」「海外進出が見込める商品開発」を個々の事業主まかせでなく「開発センター」(仮称)の設立で推進することを検討すべき。

フェリー就航に関して

【質問】宮古室蘭フェリー就航に関して、宮古の産業振興につなげ観光客が滞在する基本的視点、施策はなにか。

【答弁】フェリー利用客に合わせた観光ルート、メニュー提案が必要です。例えば洞爺湖有珠山ジオパークと三陸ジオパークを組み合わせたツアーなどが考えられる。

今後利用客のニーズや動向を把握し、観光文化交流協会や宿泊業、交通業者との連携を図り、誘客促進に取り組んでいきます。

食産業振興へ開発センターを

【質問】食産業推進への「儲かる商品づくり」「海外進出が見込める商品開発」を個々の事業主まかせでなく「開発センター」(仮称)の設立で推進することを検討すべき。

商品開発では岩手県工業技術センターから指導を受けたり岩手大学との共同研究の取り組みで「開発センター」はいいと考えていません。



漁業で生計が成立しよう

【質問】漁業で生計が成り立つようにする重点施策は何か。

【答弁】市は新加工品コンクルの実施や産業振興補助金で事業支援を行っており、南部鮭冷燻削りやワカメ佃煮など新しい商品が生まれています。

【質問】漁業で生計が成り立つようにする重点施策は何か。

【答弁】市は鮭ふ化放流や養殖漁業など「つくり育てる漁業」を推進しています。ワカメ、コンブしとりくんんでいます。

出崎埠頭整備

出崎埠頭整備目的と現状とのかい離の解消策は

【質問】昭和63年度からのこの県事業は今年度から31年度までに先端部を埋め立て防潮堤、物揚場、ふ頭用地と緑地をつくり、先端部に観光船の発着場を整備する。

しかし、観光船は1艘だけで新造船をつくる計画もないと聞く。加えて現行の小石浜の発着場のほかに出崎にも発着場をつくるという。このギャップをどう認識し、解消するのか。

【答弁】東日本大震災後の状況変化から今後の利用については関係者との協議が必要です。誘客や

観光関係者とともに考えていく必要があります。

【質問】発着場に係る構造物は誰が行うのか

【答弁】発着場に係る構造物は誰が作るのか。

【質問】発着場に係る構造物はこれからのあり方を検討する中で事業主体が決まるものと思います。藤原埠頭に発着場を集積するの一案では

【質問】宮古室蘭フェリー就航を契機に観光船の発着場も藤原埠頭に集積するの一案だが。

【答弁】観光客のニーズや利便性の観点から、浄土ヶ浜近傍に配置することが適切だと思います。(注：落合議員は鮎ヶ埼、青の洞窟周航の提案も行いました)

読者の文芸欄

● 皆帰りガランとしたる体育館 道冠水し帰れぬわれら
● 洪水を浴びたる庭に満々と紅大輪の朝顔の咲く
● 自注/前の歌は前回の続き。台風は去るも帰れなかつた一幕。後のわれらを励ます自然の偉大さを詠んだつもり。

短歌

金沢邦臣(田鎖)

釣り情報

溪流も磯場も太公望を受け入れる状況でない。ましてや磯竿を担いでノコノコ、フラフラ歩いたら罰が当たる。ここは自重し、被災者に寄り添い復旧を少しでも後押しすることが重要だ。

「言い方は好ぐねえども、災害が続くと家の中が少す窮屈だ。日曜日などほとんど居ない夫が部屋を陣取って『お母! 昼飯はなんだや?』ってうるせえがえ」。釣りの予定がないとメシの催促とは。他に話すことはないのか、と心配になる。

話すことはいくらでもある。お互いの体形のこと、夫婦の将来設計のこと、孫たちの未来のこと、耐用年数が近づいている家の修理のことなど。それとも会話のネタは尽き果てたか。それはない!

